

第七十四回
帝國議會
貴族院

朝鮮事業公債法中改正法律案特別委員會議事速記録第三號

付託議案(追加)

明治四十五年法律第二十三號中改正法律

案

昭和十四年二月二十七日(月曜日)午後一時五十三分開會

○委員長(伯爵堀田正恒君) 是ヨリ開會致シマス

○吳賢福原俊丸君 此ノ前ノ時ニ鐵道ノ補助費ヲ、年額最高限度五百萬圓ト云フコトヲ御説明ラ承リマシテ、一應承知致シマシタケレドモ、其ノ後色々考ヘテ見マス

ト云フ、其ノ御説明ニ依レバ、今年ハ四百五十萬圓デアルケレドモ、今後私設鐵道ガ段々新設、建設サレルノデ、五百萬圓以上ノ補助費ヲ出スヤウナ場合ガ段々出テ來ルト云フ御話デアリマスガ、チヨット差當リノ所デ見マシテモ、今迄程ニ一部幹線ノ代用ニナルヤウナ線路デナク、全ク營養線デアルヤウナ、尤モ東海岸ト中央線又ハ今ノ京釜線ヲ繼グ線路ハ未ダ二ツ三ツ將來ハアルカト思ヒマスケレドモ、比較的地方ニ對スル營養線ガ將來起ルノデヤナイカト思フノデス、サウシマス

ト云フト今迄ヨリモソナニ非常ニ補助費ガ殖エテ行クト云フヤウナコトガチヨット考ヘラレヌヤウナ氣ガスル、即チ現在補助シテ居ル所謂三鐵道、大キナ三鐵道モ當分ハ買收シナイト云フコトデアレバ、非常ニ殖エテ來ルケレドモ、是ハ漸次買收シテ大體行クヤウナ御方針デアッテ、唯、今ノ經濟狀態、所謂軍事實費ノ爲ニ公債ガ非常ニ要ルカラシテ、ソレデ公債ヲ暫ク出サナイト云フ御方針デアルヤウ承ッテ居ルノデカラシテ、將來此ノ對支事變ガ稍、下火ニナッテ來レバ、自然色々從來ノ御方針ニ依ッテ補助シテ行ク、殊ニ三大私設鐵道ノ如キハ買收サレルノデヤナイカト思フ、サウスレバ矢張り補助スル費用ト云フモノハ非常ニ將來殖エテ行クト云フヤウナコトハナイヤウナ氣ガスル、サウスルト言ヒ換ヘレバ當分此ノ儘デ殘ツタモノハ、政府ノ國有鐵道ニ於テ絕對ニ必要デナイモノハ、先ヅ補助シテヤルト云フヤウナ方針ニナッテ居ルノデヤナイカト云フヤウナ氣ガスルノガ一つノ私ノ疑問デアリマス、モウ一つハ、大體昨年ノ夏迄ト云フモノハ所謂支那臨時事件デアルヤウニ取扱ハレ、昨年ノ夏以後ハ所謂長期抗戰ニ入ッテ來タ、長期抗戰ニ

ナッテ來タ時ノ考ト、今ノ考ト、公債ヲ出來ルダケ止メルト云フ御説明ノ意味トガ、ドウモ矛盾ガアルヤウニ思フ、ソレハドウカト申シマス、長期抗戰ト云フコトハ、長期ガ五年デアルカ、十年デアルカ、百年デアルカ、ソレハマダ分リマセヌケレドモ、結局當分ハ今ノ狀態デ行カウト云フコトニナル、サウスルト無論軍事實費ハ公債支辨ノ軍事費ト云フモノハ相當ニ掛ル、サウシテ來レバ先達デ大藏男爵ガ御話ニナッタヤウニ、現在ノ私設鐵道ニ關シテモ七八千萬圓アレバト云フノデカラ、一億ニナラナイ、大シタ金デナイ、一方公債ヲ餘計出セバ物價ガ騰貴スルコトニナルノデスカラシテ、ソコデ出來ルダケ公債ハ減額シテ、成ベク少クシヨウト云フノデスカレドモ、將來是カラ長期抗戰デ相當ニ公債ガ殖エテ行ケバ、一億位ノ公債ヲ殖シタ所デ大シタソコニ影響ハ及サナイノデヤナイカト云フヤウナ氣ガスル、ソレカラモウ一つハ是ハ衆議院デモ問題ニナッテ居ッタヤウデスガ、常識デ考ヘテモ同ジデ、私設鐵道ト國有鐵道トハ旅客運賃モ貨物ノ運賃モ、ドチラモ約半額以下ニナッテ居ルノデスガ、ソレデ殊ニ此ノ私

設鐵道ト國有鐵道トハ、連帶ノ長距離割引ト云フモノハヤラナイコトニナッテ、連帶シテ居ラナイ、殊ニ私共現在今迄ノ經驗ニ依ッテ、是ハ少シ直接ノ鐵道ノ問題デアリマセヌケレドモ、北鮮關係ノ一事ヲ考ヘテモ、アノ時ハ鐵道ト船デアッタ、北鮮ノ方ニ鐵道ガ通ジナイ、昭和四年ニ全體通ジテカラ非常ニ運賃モ安クナリ、非常ニ便利ニナッタ爲ニ北鮮ノ經濟界ガ餘程變ッテ來タ、活氣ヲ帶ビテ來タト云フコトハ我々ハ記憶シテ居ル、デスカラシテ私設鐵道ヲ買收シテ皆國有ニスレバ、經濟界ニ相當ナ好影響ヲ與ヘル、ソレデ一面公債ヲ餘計出シタ爲ニ所謂「インフレーション」起ス一ツノ原因ニナリ、物價ガ高クナルト云フコトモ一ツ考ヘニヤナラヌケレドモ、併シ貨物ノ運賃旅客ノ運賃ガ安クナレバ、ソレダケ物價ハ、現ニ或ル程度迄安クナルシ、又個人ノ經濟モ非常ニ減ッテ來ル譯デスカラ、ソレヲ考ヘルト云フト、唯長期抗戰デナイ場合ニハ今迄ノヤウナ方針デモ宜イケレドモ、長期抗戰ト云フコトニナッタ今日ハ、相當其處ニ全體ヲ綜合シテ考ヘラレテ、私共ハ朝鮮ノ私設鐵道ハ大體早ク買フト云フ御

方針ヲ執ラレルコトガ……、大藏省トシテハ極ク平凡ナ考デハ、公債ヲ成ルベク少クシロト云フコトハチヨット筋ガ通ルケレドモ、能ク考ヘテ見ルト私共ハ却テ朝鮮ノヤウナ所ハ、前カラノ方針デモサウデアルシ、成ルベク早く國有ニスルト云フコトガ宜イデヤナイカ、殊ニ公債モ三分五厘デアルシ、又今ノヤウニ私設鐵道ガ十モ十一モアツテ、別ニヤツテ居レバ營業費ニ於テモ、國ガヤレバ大分減ツテ來ルシ、其處ハチヨット私共自分デ調ベテ見マシテモ能ク分リマセスガ、三分五厘ノ公債デ買ヘバ、寧ロ公債デ買ツタ方ガ五分ノ補助ヲシテ行クヨリモ、色々ナコトヲ考ヘルト云フト矢張り得デヤナイカ、唯大藏省ガ公債ヲ發行サセスト言フノヲ、朝鮮當局ニ於テハ唯御尤デスト言フテ聽イテ居ラレルヤウニ思フノデス、朝鮮總督府トシテハ其處迄今少シ進メラレテ考ヘラレルコトガ、所謂朝鮮統治デナシニ、矢張り日本全體ノ經濟界ニ貢獻スル上ニ於テ忠ナル所以デハナイカト云フヤウナ感ジヲ持ツノデスカ、ナカ／＼是ハムヅカシイ問題デスケレドモ、其ノ點ニ對シテチヨット此ノ間カラ伺ツテ居ッタノヲ考ヘテ見ルト云フト、何ンダカ少シ疑問ガ起リマシタカラシテ、今日一ツ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(大野綠一 郎君) 途中カラデアリマスガ、私ヨリ御答ヘ致シマシテ、足リヌ所ヲ又他ノ政府委員ヨリ御答スルコトニ致シマス、御示ノヤウニ三分五厘ノ公債ヲ發行スル方ガ、補助ヲスルヨリ實ハ得ナンデゴザイマス、其ノ點ハ何等異存ハナイシ、ソレカラ我々ト致シマシテモ出來ル限リ早く私設鐵道ヲ買収シタ方ガ、左様ナ立場カラ致シマシテモ採算上有利デアルシ、ソレカラ只今御話ノヤウニ運賃モ非常ニ低減セラレル結果、一般民モ非常ナ、利益ヲ受ケル、是ハモウ少シモ異存ハナイノデス、結局矢張り只今ノ公債ノ發行額ヲ幾ラニスルカ、交付公債モ矢張り公債デアルカラ、公債市場ヲ壓迫スルト云フ理由デ、實ハ今迄左様ナ理由デ以テ今日ノ慶北安東・金泉ノ間モ引張ツテ來タヤウナ譯デアリマス、ソコデマア詰リ總督府ハモット全般的ニ計畫ヲ立テテ早く買ツタ宜イデヤナイカ、斯ウ云フ御話デアリマスガ、結局公債ノ發行額ノ問題ニナル、我々トシテハ終始成ルベク早く買ヘ、サウシテ、一般ノ人ニモ利益ヲ與ヘ、又政府ノ財政トシテモ其ノ方ガ得ナンデス、サウ云フヤウナ立場ニナツテ居リマス、結局公債政策ノ問題ニナル譯デス、決シテ御議論ニ私共ハ衷心カラ申セバ反對ノ

コトハ少シモナイ、結局マア何ント申シマスカ、全般ノ公債政策ノ問題ニ歸著スル譯デス、併シ我々トシテハ出來得ル限リ左様ナ趣旨ヲ以テマシテ、少シデモ早く買収致シタイ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ル譯デス

○男爵福原俊九君 私ハソレニ加フルニ長期抗戰ニナツタカラシテ、ソレヲ考ヘルト云フト、其ノ論ヲモウ少シ突ッ込ンデ私共ハ知リタイ、チヨット先程、マダ御出ニナラス時ニ申上ゲマシタケレドモ、詰リソレハ此ノ日支事變ガ三年デ濟ムカ、十年デ濟ムカ分ラヌケレドモ、長期抗戰ト云フコトハ要スルニ當分ハマダ續クノデスカラシテ、サウスレバ軍事費ガ相當要ル、ソレニ對シテハ相當ノ公債ガ出ルノデスカラシテ、サウスルト將來出テ行ク公債ニ對シテ、朝鮮ノ公債ノ比率ト云フモノハ僅カニナル、今日ノ公債ノ全體ニ對スル朝鮮ノ今發行サレルト云フ公債ノ額ト、來年ハ其ノ割合ガ又小サクナリマスルカラシテ、其ノ公債ヲ殖ヤシテ行クノニ、一番心配スルノハ「インフレ」ヲ起スコトデアル、ソレト一方ニ於テ朝鮮ニ於ケル個人ノ經濟ヲ安ラカニシ、ソレカラ物資ガ安クナレバ其ノ方デ良クナルカラシテ、ソコヲ相殺サレルヤウナ何カ關係ニナリハセヌカ、ソレカラモウ一ツハ、ドウシテモ此ノ

長期抗戰ト云フモノニナツタ以上ハ、是ガ三年先ニナツデモ五年先ニナツデモ、矢張り將來ハ日本デ廉クテ良イ物資ヲ餘計出シテ、サウシテ詰リ世界ノ市場ニ持ッテ行ッテ、出シテ行カナケレバナラスト云フコトニナルカラシテ、其ノ用意モ今シテ置カニヤナラス、ソレニハ矢張り朝鮮ノ鐵道、一番産業ノ本ニナル大事ヲ交通ヲ非常ニ完備シ、安クシ、國營ニシテ置クコトガ必要デヤナイカ、サウシテ長期抗戰ト云フコトヲ御考ヘニナツテ居ッテ、矢張り大藏省ノ言ハレルコトデ御満足ニナツテ居ラレルカドウカト云フコトガ私ノ質問ナンデス、先程ノコトダケハ、ソレハモウ私共承知シテ居ルノデス

○政府委員(大野綠一 郎君) ドウモ政府部内デスカラ、大藏省ノコトヲ兎ヤ角ト言フコトハチヨット此處デ申シ兼ねマスガ、要スルニ斯ウ云フコトニナルカト思フノデス、大體買収スルコトガ有利デアリ、又採算上モ有利デアリ、一般ニ對シテモ非常ニ宜イ、從ッテ買収シナケレバナラナイガ、ソレハドノ程度迄買収シテ行クカ、一遍ニト云フコトモ之モナカ／＼出來ナイト思ヒマスカラ、結局財政ノ狀況ヲ見、公債ノ發行力ヲ見テ年々ニ決メテ行ク、斯ウ致スヨリ外仕様ガアルマイト思ッテ居リマス、ソレデ御示

ノヤウニ段々他ノ方ノ公債ガマア恐ラク殖
エルト云フコトニナッテ居ル、サウスルト比
率ノ關係ニ於テモ極ク朝鮮ノ公債ト云フモ

ノハ少部分ニナルト云フコトデ、或ハ發行
力ガ幾分認メラレルコトニナリマスカ、但
シハ一方カラ言フト成ルベク少クシタイノ

ダ、從ッテ何デモ抑ヘタイト云フ意見モ全
然ナイトハ言ヘナイノデアリマス、結局ハ
矢張り大體ノ方針ハ、御示ノヤウニ早く國

有ニ移サナケレバナライ、其ノ趣旨ヲ以
チマシテソレノ年度ニ於テ其ノ發行額
ヲ決メテ、サウシテソレカラ買收ラシテ貰

フ、斯ウ云フコトニナルト思フノデアリマ
ス、マア私ノ方トシテハ、決シテ是デ満足
ヲ致シテ居ル譯デアリマセヌノデ、勿論出

來ルダケ早く買收スルコトニ努力致シテ居
ル積リデアリマス

○侯爵大炊御門經輝君 此ノ間戴キマシタ資
料ノ中ニ「朝鮮事業公債支辨ノ事業費額調」
此ノ中ノ「昭和十三年度發行見込額」ノ中ニ

金山送電施設、ソレカラ昭和十四年度以降ノ
金山送電施設、二千萬圓増額ニナッテ居リ
マスガ、之ニ關聯致シマシテ、朝鮮ニ於ケ

ル金ノ増産計畫ヲ御聽カセ願ヒタイト思ヒ
マス
○政府委員(大野綠一郎君) テヨット速記ヲ

止メテ戴ケバ數字ノコトモ申上ゲマス
○委員長(伯爵堀田正恒君) 速記中止

(速記中止)

○委員長(伯爵堀田正恒君) 速記ヲ始メテ

○男爵大藏公望君 先程ノ福原君ノ御質問
ニ關聯シテ……朝鮮ノ補助法ヲ五年間延

長サレマスノハ、五年間ト云ハズ二十年ト
サレタ方ガ早イヤウナ氣ガスルガ、大體五

年間ノ間ニハ買收スル見込ダカラ後ハ要ラ
ヌトカ、若シクハ今日ノモノカラ見レバ五

年間補助スレバ大體宜カラウトカ、何カ目
途ガアッテ五年間トサレタノカ、若シクハ取

敢ズ五年間トサレタカ、其ノ邊ヲ御伺ヒ致
シマス

○政府委員(大野綠一郎君) マア五年間ニ
非常ニ業績ガ良クナルトモテヨット申上ゲ

兼ネマス、然ラバ五年間ニ完全ニ買收スル
カ、是モ確實ニ五年間トハ申セマセヌガ、

或ルベク買收致シタイ、ソレナラ買收ガ出
來ナカッタラドウスルカト申シマス、是ハ

モウ先キノ問題デ、斯ウ御答ヘ致スヨリ致
シ方ナイト存ジマス

○男爵大藏公望君 實際五年間ト極メテ置
イタノハサウ云フ御考ダツタノデセウカ

○政府委員(大野綠一郎君) サウ明確ニ五
年間ニ買收スルトモテヨット申シ兼ネマス、

併シソレデヤソレハ買收シナイノカト申シ
マス、ソレハモウ私共ト致シマシテハ毎
年餘裕ノアル限リ買收シタイと思ッテ居リ

マス、斯ウ風ニ考ヘテ居リマス

○男爵大藏公望君 サウシマス、五年ト云
ハズ十年トシテ置イタ方ガ早カッタデスネ

○政府委員(大野綠一郎君) ドウモ其ノ點
ニナリマス、テヨット御答ヘ出來兼ネマ

○委員長(伯爵堀田正恒君) 朝鮮ノ法律三
案ニ付テノ御質問ハ、此ノ際此ノ程度デ止

メテ置キマシテ、新シク此ノ委員會ニ付託
ニ相成リマシタ明治四十五年法律第二十三

號中改正法律案、是ノ政府當局ノ御説明ヲ
此ノ際煩ハシタイト思ヒマス、御異議ゴザ

イマセヌカ
(異議ナシト呼フ者アリ)

○委員長(伯爵堀田正恒君) ソレデハ御説
明ヲ願ヒマス

○政府委員(寺田市正君) 私ハ只今議題ト
ナリマシタ明治四十五年法律第二十三號中

改正法律案ニ付キマシテ、提案ノ理由ヲ御
説明致シマス、我が國ニ於キマスル石油ノ

産額ハ僅カニ總需要量ノ一割ニモ足りマセ
ズ、他ハ總テ海外ヨリノ輸入ニ依存シツ、
アリマスル現狀ニ鑑ミマシテ、國內石油資

源ノ開發、海外石油資源ノ確保及開發等ニ
努メマスルト共ニ、急速ニ人造石油製造事

業ノ振興確立ヲ圖リマシテ、以テ液體燃料
ノ供給ヲ確保シマスルコトハ、國防上及産

業上刻下ノ急務ニ屬スルノデアリマス、而
シテ人造石油製造事業ノ振興確立ノ爲ニハ、

曩ニ議會ノ御協賛ヲ經マシテ人造石油製造
事業法ノ制定ト、帝國燃料興業株式會社ノ

設立ヲ見マシテ、著々其ノ目的ノ貫徹ニ向ッ
テ歩ヲ進メテ居ルノデアリマス、元來人造

石油製造事業ハ是ガ經濟的、合理的の操業ヲ
爲シマスガ爲ニハ、相當大規模ノモノデア

ルコトヲ必要トセラレマスノデ、本事業ノ
依存シマスル炭田ノ埋藏量ハ、相當豊富ナ

ルコトヲ要シマスルノミナラズ、原料炭質
ニ付テモ相當選定スルコトガ亦絕對ニ必要

トセラレテ居リマスノデ、本事業ノ經營ハ
此ノ點カラ申シマシテモナカナカ容易ナラ

スノデアリマス、而シテ樺太ニ於キマシテ
ハ其ノ石炭賦存ノ狀況ニ照シマシテ、右ノ要

求ニ適合スル炭田モ少クナイト存ゼラレル
ノデアリマスガ、就中明治四十五年法律第

二十三號ニ依リマシテ主務大臣ノ指定シマ
シタ區域内ノ炭田、即チ樺太ノ所謂封鎖炭
田中ニハ最モ能ク右ノ要求ニ合致シ、又石
炭液化ニ恰適スル所ノモノガ認メラレルノ

デアリマス、從テ政府ニ於テモ從來液體燃料國策ニ資スル爲、能フ限り適當ナル人造石油製造會社ニ對シ封鎖ヲ解キタイ考ヲ持ツテ居タノデアリマスガ、一方有力會社ニ於キマシテモ此ノ樺太ノ封鎖炭田ノ一部ヲ基礎トシマシテ、大規模ノ人造石油製造工場ヲ建設セントスルノ希望ヲ有スルモノガ出テ參ッタノデアリマシテ、樺太ノ拓殖上カラ申シマシテモ實ニ喜バシキコトデアリマスノデ、速カニ之ガ實現ヲ期シタイト存ズルノデアリマスガ、封鎖炭田ノ石炭採掘ニ付キマシテハ、現行法ノ下ニ於キマシテハ如何ナル場合ニ於キマシテモ其ノ採掘料ヲ競争入札ニ付シマシテ、落札者ニ之ヲ許可スルコトナッテ居リマスノデ、假令人造石油製造會社ガ入札ニ加入スルト致シマシテモ、非常ナ犧牲ヲ拂ヘバ兎モ角、然ラザレバ必ズシモ之ニ落札スルトハ限リマセヌノデ、特ニ人造石油製造事業法ニ依リ許可ヲ受ケマシタル人造石油製造會社ニ對シマシテハ、行政官廳ニ於キマシテ其ノ採掘料ヲ定メ、石炭採掘ヲ許可シ得ルコトト致シタノデアリマス、元來人造石油製造事業法ニ於キマシテモ、本事業ヲ許可事業ト爲シテ特別ノ監督ト助成ヲ講ジテ居リマスル趣旨ヲ考慮シ、尙又樺太ノ封鎖炭田ヲ設置シマ

シタル法ノ精神ニモ鑑ミマスル時ハ、斯クスルコトガ最モ必要且適當ナル措置ト認メタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上御協賛アラムコトヲ希望スル次第デアリマス

○委員長(伯爵堀田正恒君) 御質問ガゴザイマシタラ……

○男爵大藏公望君 私甚ダ迂闊ナデスガ、人造石油製造事業法第二條ノ規定ニ依リ人造石油製造事業ノ許可ヲ受ケタル箇所ト云フモノハ、一ツシカナイノデスカ、二ツ以上デスカ、又假ニ二ツ以上アッタ時ニハ其ノ兩會社ノ競願ノ時分ニハドウ云フ風ニナサレマスカ、竝ニ採掘料ノ決メ方ハドウスルノカ、此ノ點ヲ御伺ヒシタイト思ヒマス

○政府委員(棟居俊一君) 御尋ノ人造石油事業法ニ基キマシテ事業ノ許可ヲ受ケマシタ會社ガ二ツ以上アリマシテ、同時ニ同一ノ場所ニ採掘ノ出願ヲスルト云フ場合モ、觀念的ニハ想像サレルノデアリマスケレドモ、實際ノ場合ニ於キマシテハ、許可ヲ致シマス際ニ豫メ十分種々ノ打合ヲ遂ゲマシテ、何處ノ山デドノ會社ニ事業ヲヤラスト云フコトヲ最初カラ檢討ヲ致シマシタ上デ、特定ノ會社ニ特定ノ炭鑛ヲ開放スルト云フ方法ガ講ゼラレルト思ッテ居リマス、觀念的ニハ竝立スル場合モ豫想致サレマス、尙現在ハ

三菱ニ對シマシテ人造石油事業ヲ許可致シテ居リマス、ソレカラ採掘料ノ決メ方ハ相當複雜ナ問題ダト考ヘテ居リマスガ、大體從來鑛山ノ賣買ノ際ニ用ヒラレテ居リマスル方法ヲ參酌致シマシテ、炭鑛ノ企業費及ビ生産費ヲ決定致シマス上ニ重大ナル影響ノアリマスル地理的條件ト申シマスカ炭鑛ノ位置、ソレカラ鑛區、面積、坪數、炭質、竝ニ炭量ト云フヤウナモノヲ各方面カラ十分ニ研究致シマシテ、賣價ヲ決定致シテ居ルノデアリマスガ、マア普通ノ「ホスコルド」公式ガ用ヒラレテ居ルト云フコトヲ我々聞イテ居リマスガ、左様ナ方式ニ依リマシテ從來モ石炭ノ採掘料ノ決定ノ基準ヲ決メテ居ッタノデアリマス、將來此ノ改正法ニ依ル採掘ニ付キマシテモ、同様ノ實際的ナ見地カラノ研究ニ基キマシテ料金ヲ決メタイト思ッテ居リマス次第デアリマス

○男爵大藏公望君 只今ノ採掘料ノ決定方法ハチヨット能ク解リマセヌガドウモ人造石油ヲ造ルト云フコトハナカノムヅカシイノデ、サウ安クシテハ引合ハナイ、今ノ御話ノヤウニ普通一般ノ採掘料ヲ定メル方法ニ依ッテ御決メニナッタンデハ、ウマク行カナイヤウナ氣ガスルノデス、結局マア民間事業デアリマスノデ、採算ノ點モ考ヘテ、

サウシテ普通ノ採掘料ヲ決メル方法ニ依ラズシテ、採算ガ成立ツヤウナ形デナサルベキデヤナイカト云フ風ナ氣ガスルコトハ、何ト申シマシテモ此ノ人造石油ハ何處ヘ行ッテモ皆ムヅカシイ、餘程犧牲ヲ拂ハナケレバムヅカシイ、此際ハ成ルベク促進セシメルト云フ御方針デナサルベキデヤナイカト云フ氣ガスルノデスガ、チヨット只今ノ御返事ダケデハ將來御困リニナルヤウナ場合ガ出來ハシナイカト云フ氣ガスルノデスガ、如何デスカ

○政府委員(棟居俊一君) 御尤ダト存ジマスガ、採掘料ノ方ハ特ニ人造石油製造事業ニ對シテ破格ノ低率ノ料金ヲ決メマスルト云フコトハ、法律全體ノ精神カラ申シマシテモ必ズシモ執ルベキ方法トモ考ヘマセヌノデ、補助ノ方ノ點デサウ云フ點ハ考慮シ得ルノデハナイカト思ッテ居リマス

○男爵大藏公望君 サウ云フ風ナ政府ノ御所信ナラ誠ニ結構ダト思ヒマス、ソレカラ帝國燃料會社ハ樺太内ニハアリマセヌカ、今ノ御話ノ唯三菱ダケニ限ッテ居ルノデ、帝國燃料ハ入レナイト云フ御方針デアリマスカ

○政府委員(棟居俊一君) 只今許可シテ居リマスノハ三菱系統ノ會社デアリマスガ、

此ノ法律ノ改正ノ眼目ハ寧ロ帝燃ヲ樺太ニ誘致致シマシテ、帝燃ニ相當大規模ナ事業ヲヤラシタイト云フコトデアリマシテ、既ニ或程度迄總テ準備ハ進ンデ居リマス譯デアリマス

○男爵大藏公望君 私ハ實ハサウダト思ッ
タノデアリマスガ、サウ致シマスト確カ先年何番目ノ議會デゴザイマシタカ、樺太ニ於ケル三菱ノ人造石油事業ニ對シテ、補助ヲシテ獎勵スルコトニナツタ、其ノ成績ヲ伺ヒタイノデアリマスガ、更ニ其ノ關係上三菱トシテハ、帝燃會社以外ニ自分ノ方デモヤリタイ、折角犧牲ヲ拂ッタノダカラト、斯ウ云フヤウナ希望モ出ハシナイカ、從ッテ三菱ノ競願ト云フコトモアリ得ルノヂヤナイカト云フコトモ考ヘラレルノデ、其ノ點ヲ伺ヒタイ、ソレカラ此ノ際序ニ、先年補助ヲ與ヘテ迄御助成ニナリマシタ三菱ノ成績ヲ一ツ御説明願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(棟居俊一君) 三菱ハ現在樺太ノ西海岸ノ内幌デ、昭和十年以來低溫乾溜ノ方法ニ依リマス液化事業ヲ經營致シテ居リマスガ、何シロ三菱ト致シマシテモ、稍、試験的ナ狀態ニ於キマシテ事業ニ著手致シマシタノデ、相當事業ノ進行中困難ヲ生ジタノデアリマスルガ、併シ其ノ後政府ノ助

成モアリマスルシ、自ラ體驗ニ依リマシテ改良ヲ致ス所モアリマシテ、事業自身ト致シマシテハ現在可ナリ好成績ヲ收メテ居リマス、併シ會社ノ採算關係ハ、依然ト致シマシテ赤字デアリマシテ、只今原料炭ノ増産計畫ヲ樹テテ居リマシテ、十五年度カラハ是ガ完全ニ操業ガ出來ルダラウト思ッデ居リマスルガ、大體會社ノ技術的ナ成績ハ優秀デアリマスルケレドモ、採算關係カラハ依然赤字ガ續イテ居リマスノデ、相當ハ引續キマシテ補助ヲ與ヘテヤラナケレバナラスト考ヘテ居リマス、此ノ度帝國燃料ト只今申上ゲマシタ三菱ノ液化會社トガ資本的ニ結付キマシテ、折半出資スルト云フコトニ致シマシテ、將來尙樺太デ事業ヲヤリマスル場合ニ於キマシテハ、帝燃ニ致シマシテモ或ハ其ノ他ノ會社ニ致シマシテモ、帝燃ヲ矢張り事業ノ母體ト致シタイ、技術的ニ見マシテモ資本的ニ見マシテモ、矢張り帝燃

ガ統制會社ニナツテ居リマスルカラ、帝燃ヲ中心ニシタ事業ノ形デヤラセタイト斯様ニ考ヘテ居リマスノデ、假ニ此ノ度開放致シタイト思ッデ居リマスル豫定地デ帝燃ガヤリマシテモ、矢張り三菱ノ資本ハ相當之ニ參加サセタイト思ッデ居リマス次第デアリマス

○今井五介君 チョット御伺ヒシタイノデアリマスガ、帝燃、三菱兩會社ガ主體トナツテ今後本事業ヲ營マセルガ、他ニ希望ノ者ガアリマシタ時ニハ、其ノ諒解ヲ得ナケレバイケナイト云フコトニナツテ居ルノデスカ、ドンナコトニナツテ居ルノデスカ、出願スル場合ニ當ッテ……

○政府委員(棟居俊一君) 別ニ特ニ諒解ヲ得ナケレバ樺太デハ許可ヲシナイト云フコトハナイト思ヒマス、唯事實上ノ協調ヲ我々トシテハ希望致シテ居リマスケレドモ……

○今井五介君 尙伺ッテ見タイコトハ、ドノ位ノ實力ノ有ル者ハ許可スルトカ云フ、何カソコニ資本ノ程度デモアリマスカ、ソレハ實力ニ依ルト云フヤウナ大體ノ御考デアルカ、ドンナモノデアルカ……

○政府委員(棟居俊一君) 後段ノ御意見ノ通りデアリマス、御説ノ通りデアリマス

○今井五介君 尙チョット伺ッテ見タイ、出願スル場合ニ於テ會社ガ組織サレナケレバイケナイトデアリマスルカ、一旦炭田ノ調査ト云ヒマスカ、内容ヲ窺ッテ、成ル程はナラバ目的ノ所謂「ヒント」ヲ得タト云フ程度ニマア認メテ、茲ニ於テ此ノ會社ヲ拵ヘタイト云フ順序デ宜イノデスカ、會社ガ出來テ而シテ出願ヲシナケレバナラスノカ、

出願スル前ニ豫備行爲トシテ何カ順序ガ要ルカ要ラナイカト云フコトヲチョット伺ヒタイ

○政府委員(棟居俊一君) 此ノ度ノ改正條文ニ於キマシテハ、形ノ上デハ樺太デ人造石油事業ノ許可ヲ受ケタル會社ニ對シテ、封鎖炭田ニ於ケル探掘ヲ認メルト云フ建前ニ相成ル譯デアリマス、從ヒマシテ表面カラ見マスレバ、一旦會社ガ出來マシテ、然ル後ニ何處ノ場所デ幾ラ石炭ヲ探掘スルト云フ順序ニナル譯デアリマスガ、實際ニ於キマシテハ、何シロ國策ニ副フ大事業デアリマスルカラシテ、何處ノ場所デ大凡ドノ位ノ事業ヲヤルト云フコトヲ檢査致シマシテ、樺太廳ト業者ト殆ド一體ニナリマシテ、事業ノ經營ノ確立ヲ圖ラナケレバナラスト思ッテ居リマスカラシテ、内面的工作ハ遺憾ナク致シマシタ上デ、許可致スト云フコトニナルカト思ッテ居リマス、尙ホ色々樺太ノ資源ニ關シマシテハ防諜上其ノ他ノ必要カラ、成ルダケ重要ナ産業ニ付キマシテノ數字ハ外部ニ發表致サナイコトニ致シテ居リマスノデ、此ノ席上申上ゲマス數字ニ關シマスルコトハ、成ルタケ速記カラ御省キ願ヒタイト思ッテ居リマス

○委員長(伯爵堀田正恒君) 委員長ニ於テ

速記ノ方カラ削リタイト思ヒマスカラ、御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○今井五介君 モウ一ツ伺ッテ置キマス、封鎖炭田ハ人造石油製造ノ目的ニ副ハナイモノハ許サナイ、ソレハ場合ニ依ッテハ許スコトニナリマスカ、ソレヲ伺ヒマス

○政府委員(棟居俊一君) 此ノ度ノ改正ハ人造石油製造事業ニソレノ適用サレルノデアリマスルガ、從來一般ニ燃料用ト致シマシテ主トシテ三ヶ所開放致シテ居リマス、是ハ將來トモ一般ノ用途ニ供シマスル石炭ニ付キマシテハ、今迄ノ建前デ許可ヲ致スト云フコトニ相成ッテ居リマス

○侯爵大炊御門經輝君 商工大臣ガ本會議ニ於カレマシテ、又本案ノ衆議院ノ委員會ニ於キマシテ、特ニ天然資源ノ開發ニ物理探鑛法ヲドシノ利用サレルコトヲ御言明ニナッテ居ラレルヤウデアリマスガ、地質調査ニ物理探鑛法ヲ應用スルト云フコトハ甚ダ結構ナコトデアリマシテ、大イニ利用サレナケレバナラスノデアリマスガ、今日物理探鑛法ノ現情ヲ見マスト、マダ大イニ改良研究シナケレバナナイ餘地ガ大分殘ッテ居リマシテ、又此ノ前ノ衆議院ノ委員會ニ於カレマシテ今迄大體油田ノ一次的ノ調査ガ出來テ居ル、ソレハ一次的ノ調査ト云フノハ地質調査デ

アツテ、更ニ細カイ二次的ノ調査ヲ物理探鑛法デ行フト言ハレテ居ルヤウデアリマスガ、一次的調査ト云ヒ二次的調査ト云フノモ、是ハ地質調査デ非常ニ細カナコトモ出來ルノデアリマシテ、物理的探鑛法ノ應用スル部門ト云フモノハ種々違ッテ居リマシテ、ソレハ我々ガ野外ニ於テ露頭、露出ノナイ、見ラレナイ場合、例ヘバ沖積層ト申シマスモノ、現在ノ堆積物ダトカサウ云フヤウナモノニ依ッテ蔽ハレテ居リマス處デハ、露出ガアリマセスカラ調査ガ出來ナイ、サウ云フ場合ニ地震探鑛法ナドヲ利用致シマシテ地下ニ於テハ地質調査シテ、此ノ地震探鑛法ニ致シマシテモ非常ニ條件ガアリマシテ、極ク簡單ナ地形ノ處ニ於テハ調査ニ依ッテ效果ガアルノデアリマシテ、地形ノ複雑ナ處ナドハ今ノ處マダ十分ナ效果ガ舉ラナイノデアリマシテ、デアリマスルカ大臣ノ御話ノヤウニ何處デモ構ハズ物理探鑛法ヲヤッテ見テモ效果ノ舉ルモノデナイ、又サウ云フ風ナ效果ノ舉ルヤウニスルニハ、物理探鑛法其ノモノノ研究改良ガ必要ダト存ジマス、ソレデゴザイマスカラ物理探鑛法ヲ應用サレル場合ニ能ク其ノ邊ヲ御考ヘ下サルコトヲ希望シテ置ク、ソレカラ物理探鑛法ノ效果ト云フモノ

ニ付テ、非常ニ御興味ヲ持ッテ居ラレルヤウデアリマスルカラ、速カニ此ノ物理探鑛法ノ研究事業ト云フモノニ付テ、積極的ニ御乗出シアラムコトヲ希望スルノデアリマス、ソレカラ資源調査又地質調査ト云フモノハ、此ノ非常時ニ於テハ勿論、又平時ニ於テモ決シテ蔑ロニ出來ナイモノデアリマスガ、其ノ總元締トモ云フベキ商工省ノ地質調査所ノ機構ヲ見マスト、極メテ貧弱デゴザイマシテ、今後大發展ヲスルコトヲ考ヘマシテ、地質調査並ニ資源調査ノ大發展ヲ考ヘテ見マス時ニ、甚ダ其ノ機構ハ貧弱デゴザイマスガ、之ニ付テ機構ノ擴大強化ト云フコトニ付テノ御考ガナイカ、チョット御尋ネ致シマス

○國務大臣(八田嘉明君) 只今商工省ト致シマシテ地質調査ノ物理探鑛法ヲ利用シテ居リマスノハ、只今御話モアリマシタガ、油田ニ對シマシテハ主トシテ平地ニ對シマシテ利用ヲ致シテ居ルノデアリマス、山地ハ御承ノ通りモウ其ノ地形其ノ他カラシテ大體ニ於テ背斜軸等モ考ヘラレルノデアリマス、主トシテ平地ニ利用スルコトニ相成ッテ居リマス、是等ノ物理探査法ニ關シマシテノ各種ノ方法ハ、色々ト學者方面等ニ於テモ無論研究サレテ居リマスガ、之ガ實際ドウ云フ所ニ最モ、例ヘバ彈性波ノ應用ニ依ル所ノ探査法ハドウ云フモノガ宜イカ、或ハ磁力ニ依リマスモノガドウデアアルカ、或ハ重力ニ依ルモノハドウカト云フコトニ付キマシテハ、學者方面ニ於テモ相當研究サレテ居リマスガ、實際ノ應用ニ付テハ、今後御話ノ如ク商工省ニ於テモ特ニ研究ヲ致シテ見タイト思ヒマス、本年度十四年度ノ豫算ニモ追加豫算ト致シマシテ、相當ノ物理探鑛ノ經費ハ相當多額計上スルヤウニ實ハ準備ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマスノデ、ソレ等ノ豫算ト相俟チマシテ、人的ノ方ノ擴充ト、ソレカラ技術方面ノ色々ノ施設、機械等ノ準備モ相當出來ルカト考ヘルノデアリマス、尙他ノ省ニ於テモ、例ヘバ遞信省或ハ鐵道省ニ於テモ御承知ノヤウニ河川ノ橋梁地點、其ノ他ニ付テ相當研究ヲ進メテ居ルヤウニ考ヘラレマスノデ、此ノ各省トモ連絡ヲ執リマシテ、此ノ問題ノ發展ニ力ヲ致シタイ、ソレカラ又一方學術ノ專門方面ニモ御指導ヲ願ッテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○侯爵大炊御門經輝君 只今商工大臣カラ極メテ懇切ナ御説明ヲ戴キマシテ、唯地質調査所ノ機構ニ對シテ答辯ガナカツノハ遺憾デゴザイマスガ、御考ヘ置キヲ願ヒマス

○國務大臣(八田嘉明君) 地質調査所ノ充實ト云フ話デアルカト思ヒマスガ、之ニ付テハ物理探査法以外ニ於テモ相當今度豫算ヲ要求致シテ出スコトニ致シテ居リマスノデ、御承知ヲ願ヒマス

○委員長(伯備堀田正恒君) 商工大臣ニ御質疑ゴザイマセヌカ……商工大臣ニ對スル御質問ハゴザイマセヌト見テ宜シウゴザイマス

○子爵秋元春朝君 御忙シイ所ヲ度々何デスガ、拓務大臣トシテ根本ノ問題ヲ簡單ニ御伺ヒシタイト思ヒマス

○委員長(伯備堀田正恒君) 宜シウゴザイマス

○子爵秋元春朝君 御承知ノヤウニ輸送力ガ内地ハ勿論ノコトデアリマスガ、朝鮮ニ於キマシテモ非常ニ不足ヲシテ居ルト云フコトガ現在眼ノ前ニ迫ッテ居ルノデゴザイマスガ、尙今度新東亞ノ建設ト云フヤウナコトガ完成スルニ從ヒマシテ、朝鮮ノ如キハト云ッテハ多少語弊ガアルカモ知レマセヌガ、唯通り拔ケノ、物モ通りマセウシ、人モ通りマセウシ、色々ナコトニ付テ相當輸送力ニ影響ヲ及スコトト思ヒマスガ、私ハ内地ノ事ニ付キマシテハ鐵道大臣ニ御話ヲ伺ヒタイト思ッテ居リマスガ、鐵道經營並

船舶ノ運用等ニ付テハ、此ノ儘デ御置キニナツタラ非常ニ困ル時代ガ來ハシナイカト思フノデス、殊ニ内地ニ於テモ「ガソリン」ノ關係ヤ何カデ、輸送力ハ非常ニ制限サレテ居ルノデスガ、朝鮮ニ於テモ同ジデアラウト思ヒマス、又臺灣ニ於テモ同ジデアラウト思ヒマス、尤モ一方ニ於テハ空輸ノ交通ガ非常ニ發達シマシタカラ、ソレデ幾ラカ補ヘバ宜イト云フヤウナコトモ言ヘマセウケレドモ、朝鮮ノ鐵道或ハ臺灣ノ鐵道モ、陸上ノ物ト人ト、此ノ輸送力、之ニ付テハ此ノ儘デハイカヌト思ヒマスガ、是ハ何カ今御考ニナラスト行詰ルノデハナイカト云フ氣ガシマス、朝鮮ニ於テモ或部分ハ無線ニスルトカ、色々御考デアリマセウガ、是ガ出來ル迄ニハ詰ッテシマフ、出來テモ詰ルト云フヤウナコトガアリハシナイカト思ヒマス、ソレニ付テ私設ノ鐵道ト申シマスカ、其ノ物迄モ至急買上ゲテ、サウシテ同時ニ改良スルト云フコトヲ爲サツテハ如何カト思ヒマス、尤モ今迄ハ斯ウ「云フコトヲナサツテハドウデスカト」言ッテ見マスト、政府ハ、イヤ金ガ掛ル、金ガ出ナイト云フヤウナコトデ制限サレタイケナイト云フ御答ガアツタノデスガ、今日ハ根本方針ガ變ッテ居リマスシ又急グコトデアリ、國防ニ

關係スルコト、産業ノ増進ト云ヒマスカニ付テハ思切ッテ施設スルト云フノデアリマスカラ、金ノ方ノコトハ第二デアリマスカラ、此ノ際思切ッテオヤリニナル御考ガアリマスガ、ドウデスカ、植民地ノ全體ノ輸送力ノ統制ト擴大ト申シマスガ、ト云フコトニ付テノ御腹案ガアツテ然ルベキト思フノデアリマス、其ノ點ヲ御尋ネシタイト思ヒマス

ハ、一段ノ力ヲ入レナケレバナラスト思ヒマス、從ヒマシテ今御話ノアリマシタ今日地方鐵道、民營ニ之ヲ委ネテ居リマスルモノモ、必ズヤ政府ノ手ニ收メマシテ、立派ナ輸送力ヲ持ツヤウニ致サナケレバナラナイト思ヒマス、之ニ付キマシテハ内外地ヲ通ジテノ鐵道或ハ海上ニ關係致シマスル遞信省關係ノ航路等脈絡相通ジマシテ、一段ト統制アル力強イ計畫ヲ樹テ、而シテ外地ハ之ニ即シマシテ各、其ノ特異性ニ基キマシテ交通機關ノ完成ヲ圖ルト云フコトハ、全ク今御話ノ通りデアルト考ヘマスノデ、拓務省ト致シマシテハ、此ノ點ニ今後更メテ力ヲ入レテ見タイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○男爵久保田敬一君 拓務大臣カラ直接ニ御答ヲ戴クト云フ考デモアリマセヌケレドモ、朝鮮鐵道ヲ所管サレテ居ル拓務大臣ノオイデニナル所デ聽イテ置イテ戴イテ、後カラ御返事ヲ戴イテモ宜イト思ヒマスガ、是ハ衆議院ニ於テ御質問ガアリマシタコトデ、當局カラ答辯ガアリマシテ、私ハ衆議院デ問題ニナラナカッタノヲ不思議ニ思ッテ居リマシタノデスガ、私設鐵道買収法ヲ單行法律トシテ今度議會ニ御提出ニ相成リマシタガ、ドウ云フ譯デ以テ單行法律デ御提出

ニナツカハハッキリ分ラヌノデアリマス、朝鮮事業公債法ニ依リマス、鐵道買收ノ爲ニ公債ヲ發行スルト云フコトハ、事業公債法ニ依ッテ私設鐵道買收ノ爲ニ公債ヲ發行スルコトヲ得ト云フコトガ明カニ書イテアル、法律ニ明カニ規定シテアルノデスガ、又特ニ單行法律トシテ買收ノ爲ニ公債ヲ發行スル法律ヲ出サレト云フコトハ誠ニ不思議ナコトト思フノデアリマス、之ニ對シテハ當局カラ御答辯ガアリマシテ、今更此處デ以テ再ビ御答辯ヲ承ラウトハ思ハナイノデアリマス、當局ノ御答辯トシテ餘程前ノ議會ノ時ニ何カノ都合ガアリマシテ、豫算等ノ關係デ、是ガ單行法律ニナルト云フコトニナツト云フコト、ソレカラ又重大デアルガ爲ニ、此ノ法律トシテ出シタノダト云フコトデアッタノデアリマス、二ツトモ私ハ非常ニ腑ニ落チナイコトデアッテ、法律ノ知識ガ非常ニ少イカラ分ラナイノカモ知レマセヌガ、既ニ法律ニ依ッテ政府ガ委任サレテ居ル權限デアル、其ノ權限ヲ考慮シナイデ以テ、サウシテ別ニ他ノ法律ヲ出スト云フコトハ、一方ニ於テハ法律違反デハナイカ、法律無視デアルト思フ、又一方ニ於テハ其ノ法律ニ依ッテ政府ガ責任ヲ以テ募集スベキ所ノ公債ヲ、又此ノ帝國議會ノ協賛

ヲ求メルト云フコトハ、政府ノ責任回避ト云フヤウナ風ニ解サレテモ仕方ガナイ、私ハ私設鐵道買收法ニ對シテハ誠ニ賛成デアリマシテ、此ノ間大藏男爵カラ御話ガアリマシタヤウニ、朝鮮鐵道ノ如キハ、モウ成ルベク早く買收シテ國有鐵道トスルノガ宜イト思ッテ居ルノデアリマスケレドモ、此ノ法律ヲ出シタト云フコトニ對シテノ御考ガドウデアアルカト云フコトニナリマス、或ハ此ノ法律トシテハ非常ニ良イ法律デアルケレドモ、他ノ場合ニ於テ斯ウ云フ前例ニ依ッテオヤリニナルト非常ナ弊害ヲ生ジヤシナイカト云フヤウナコトヲ思フノデアリマシテ、私ハ唯簡單ナサウ云フ御質問ヲ申上ゲテ、敢テ之ニ反對スルト云フヤウナ氣分デ以テ申上ゲルノデヤナイノデアリマスガ、果シテサウ云フ今迄法律ニ規定シテアルモノヲ、別ニ單行法律ヲ出スト云フヤウナ事例ガアッタノデアリマスガ、ソレカラ今後モ亦サウ云フ風ナコトヲオヤリニナルヤウナ御考ガアルノデアリマスガ、サウ云フコトヲドナタカラデモ、或ハ政府全體ノコトニ付テデアリマスカラ法制局長官カラデモ宜シウゴザイマスガ、適適ナ場合ニ明確ニ御返事ヲ戴キタイ、斯ウ思ッテ居リマス

○國務大臣(八田嘉明君) 只今御指摘ニナリマシタ朝鮮事業公債法ニ於テ私設鐵道ノ買收ニ要スル所ノ公債モ、ソレノ事業法ニ依ッテ公債ガ發行サレルコトニナッテ居ルコトハ御話ノ通りデアリマス、前例ガアッタカドウカト云フコトハ一ツ取調べテ御答ヲ申上ゲマスガ、心持ハ、政府ガ此ノ豫算ヲ提出スル場合ニ於テ一般ノ事業公債ニ對スル關係ガ決ッテ、ソレニ更ニ私設鐵道ノ買收ノ發行ハ、公債ヲ加ヘ、サウシテ提出スルノガ、是ハ私ハ正式ノモノダト考ヘマス、唯實際例ヘバ十四年度ノ豫算ヲ編成シテ、各省カラ大藏省ニ交渉致スヤウナ場合ニ、兎角一般ノ事業公債ノ方ハ早く決ッテ、私設鐵道ヲ買收スルカドウカト云フ問題ガ、單ニ數字ノナ問題デナクシテ、其ノ買收スルコトノ可否ト云フヤウナコトガ、相當長ク各省間ニ研究セラレル爲ニ、先ヅ此ノ一般豫算ノ關係上、此ノ特別會計ノ方モ、ソレヲ先ニ出スヤウナ必要ガアッタノデ、今回ハサウ云フ便法ヲ執ッタト思フノデアリマス、サウシテ別ニ單行法律トシテ買收ニ要スル所ノ公債發行ニ關スル件ヲ分ケタト承知致シテ居ルノデスガ、併シハ今御話ノ通りダト私ハ自分モ思ッテ居ルノデアリマス、ソレデハドウスレバ宜イカト云フト、規則通りニ申スト、先ヅ事業公債ノ發行ノ方ガ一旦出マ

シテ、ソレカラ今度引續イテ又同ジ議會ニ、買收ニ要スル所ノ公債發行ト云フモノガ決リマス、其ノ直グチヨト前ニ議會ニ於テ提案ニナッテ、或ハソレガマダ審議中ニサウ云フモノガ出テ行ッテ、之ヲ直グ訂正シナケレバナライ、詰リ公債ノ發行ノ限度ヲ變ヘナケレバナラスモノデスカラ、動モ致シマスルト、ソコニ取扱上議會ノ審議ニ關スル問題ニ於テ非常ニ面倒ガ起ルモノデアリマスカラ、ソレヲ恐レテ實ハ今回ハ買收ト云フ問題ガ大分暫ク引張ラレテ延期サレタ結果、サウナツタト思フノデアリマシテ、是ハ現狀ニ即シテサウナツタノデアリマシテ、是ハ決シテ適當ナモノト私モ考ヘテ居リマセヌ、從ヒマシテ御指摘ノ點ハ、決シテ是ガアルカラ前例ダト云フヤウナコトデナク、改メテ此ノ問題ヲ根本的ニ研究致シテ都合ノ好イヤウニ致シタイト考ヘルノデアリマス、左様御諒承ヲ願ヒマス

○男爵久保田敬一君 只今ノ御説明デ能ク諒解致シマシタガ、便宜上之ヲオヤリニナツタト云フ御話デアリマスガ、之ヲドウ云フ風ニシトラ宜イカト云フコトヲ考ヘルト云フコトデアリマスガ、是ハ極メテ簡單ナ問題デ朝鮮事業公債法ヲ改正シテ、サウシテ私設鐵道買收ニ要スル公債ヲ除ケバ何デモ

ナイ問題デアル、内地ノ國有鐵道ニ付テハソレガ全然アリマセヌ、ソレデ内地デ以テ鐵道ヲ買收スル時ニハ、一々單行法デ出スコトニナッテ居リマス、法律デ以テ委任サレテアル權限ヲ行使シナイデ、ソレデ便宜上カラシテソレヲ又別ノ法律デ出スト云フコトハ非常ニ私ハ不穩當ノコトデアルト思ッテ居ル、若シ只今拓務大臣ノ御話ノヤウナ考ナラバ、速カニ朝鮮事業公債法ヲ御改正ニナルコトヲ私ハ希望致シマス

○政府委員(水田直昌君) 衆議院デモ御質問アリマシタ關係上、私カラ附加ヘサシテ戴キマス、此ノ私設鐵道買收ニ要スル交付金ト云フモノガ事業公債法ノ中ニ書カレテアリマス、實ハ此ノ公債發行ノ總額ノ中ニハ、過去ニ於テ買收シタモノガ實ハ含マレテ居ルコトニナル譯デゴザイマス、總額ノ中ニハ從ッテ今御話ノヤウニ私設鐵道ノ買收ヲ單行法デ以テ將來ヤルト云フコトニ方針ヲ決定スレバ、事業公債法カラ其ノ買收ト云フコトノ文字ヲ削ッテシマフ、同時ニ此ノ總額八億九千百萬圓ト云フ總額ノ中カラ、ソレニ關スル經費モ削減スル、斯ウ云フコトニナル譯デアリマス、實ハ煙草專賣制度ノ實施、是ハ一回限リヤッタコトデアリマシテ、煙草專賣ノ爲ニ此ノ公債ヲ發行ス

ルト云フコトハナイノデアリマス、又從來ノ慣例上此ノ字句モ殘シ、尙ソレニ要シタ公債額モ從然發行ノ總額ノ中ニ含マシテ居ルヤウナ關係上、今回モ單行法デアリマシタケレドモ、ソレニ倣ヒマシテ私設鐵道ノ買收ト云フ過去ニヤッタモノヲ殘シテ置イタ譯デアリマス、經緯ダケ申シマス、尙與ヘラレタ權限ヲ、此ノ事業公債法ニ依ッテ既ニ政府ニ與ヘラレテ居ル權限ヲ行使セズシテ、別ニ單行法ヲ更ニ制定シテ議會ノ協贊ヲ經ルト云フコトハ、政府自ラ與ヘラレタ權限ノ上ニ眠ッテ居ッテ、餘分ノ手續ヲスルンデヤナイカト云フヤウナ意味ノ御質疑デアツカノヤウニ拜承致シマシタガ、私設鐵道買收ニ要スル交付金トシテト云フコトハ事業公債法ニ書イデアリマスガ、ソレニ必要トスル交付公債發行額ハ、其ノ都度此ノ總額ニ加ヘマシテ議會ノ協贊ヲ經ルト云フコトニナル關係ニナリマスカラ、此ノ文字ガアリマシテモ其ノ儘買收ヲ實行ラセムトスル場合ニ、議會ノ協贊ヲ經ズシテ實行シ得ル譯ニハ參リマセヌ、矢張り必要トスル額ハ常ニソレニ追加致シマシテ、帝國議會ノ協贊ヲ經ルト云フ手續ヲ其ノ都度實行スルコトニ相成ルノデアリマス、既ニ與ヘラレタ權限ノ上ニ眠ッテ居ルト云フコトニハナラ

ナイト云フ點ハ、御了承置キヲ願ヒマス
○男爵久保田敬一君 議會ノ協贊ヲ經ルニハ豫算ニ計上シテ協贊ヲ經レバ宜イノデ、其ノ公債ヲ發行シ得ルト云フ權限ハ朝鮮事業公債法デ以テ與ヘラレテ居ルノデアリマスカラ、ソレヲ又單行法律デ以テソレノ權限ヲ得ルノ爲ニ、協贊ヲ得ルコトハ必要デナイト思ヒマスガ、是ハ私ハ法律ノコトハ詳シクナイノデ、常識論デアリマスガ、サウ思ヒマスガ如何デスカ

○政府委員(水田直昌君) 私設鐵道買收ノ公債ヲ發行シテモ宜イ、併シ幾ヲ發行スルト云フ發行額ノ權限ハ、帝國議會ノ協贊ヲ經マセヌト公債發行ハ出來ナイ、幾ヲ公債ヲ發行シテ宜イト云フ具體的ノ公債發行ノ權限ハ、又別ニ帝國議會ノ協贊ヲ必要トスルト云フコトニ承知シテ居リマス
○男爵久保田敬一君 シテ見マスルト朝鮮事業公債法ニアル所ノ私設鐵道買收ノ爲ニ公債ヲ發行シ得ルト云フ權限ハ何ノ爲ニアルカ分ラナイ、是ハ内地ノ私設鐵道ヲ買收スル時ニハ、ソナナ法律モ何モ一ツモ無い、朝鮮デ以テサウ云フ公債ヲ發行スル爲ノ額ヲ決定シタ法律ヲ協贊ヲ經ナケレバナラスト云フナラバ、朝鮮事業公債法ノ中ニアル所ノ私設鐵道買收ニ要スル公債ト云フ權限

ハ全然要ラナイモノト私ハ思フ、是ハ當然御制リニナルノガ當リ前ト思ヒマスガ、如何デスカ

○政府委員(水田直昌君) 將來此ノ私鐵ノ買收ニ付キマシテ單行法デヤルト云フコトニ政府部内デ研究致シマシテ、サウ云フコトニ決定致シマスルナラバ、コチラノ方面モソレニ應ジマスルヤウニ適當ニ考慮スルコトニナラウカト存ジマス、只今ノ點ニ付キマシテハ研究サセテ戴キタイト思ヒマス

○委員長(伯爵堀田正恒君) 今日ハ是デ散會シタイト思ヒマス、速記ノ都合デ明後日午後一時半カラ開キマス、デハ散會致シマス

午後三時二十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵堀田 正恒君
副委員長 男爵大藏 公望君
委員 侯爵池田 宣政君
侯爵大炊御門經輝君
子爵秋元 春朝君
子爵保科 正昭君
男爵福原 俊丸君
男爵久保田敬一君
今井田清徳君

國務大臣

澁澤 金藏君
今井 五介君
松本勝太郎君

商工大臣兼拓務大臣

八田 嘉明君

政府委員

大藏參與官

矢野庄太郎君

拓務政務次官

寺田 市正君

拓務參與官

江藤源九郎君

拓務書記官

森重 千夫君

朝鮮總督府政務總監

大野綠一郎君

朝鮮總督府財務局長

水田 直昌君

朝鮮總督府鐵道局長

工藤 義男君

樺太廳長官

棟居 俊一君